

吉野弘の詩朗読コンクール



吉野弘の
こころを詠む



決勝大会

2024年1月20日(土)

開場：13:00 開演：13:30 入場無料(要整理券)
場所：富士市文化会館ロゼシアター 小ホール

吉野弘 略歴

- | | | | |
|-------|---|-------|---|
| 1926年 | 1月16日 山形県酒田市生まれる。 | 1980年 | この頃から、文筆を専業とするようになった。 |
| 1938年 | 酒田市琢成第二尋常小学校を総代として卒業。 | 1990年 | 『自然渋滞』で第5回詩歌文学館賞を受賞した。 |
| 1942年 | 12月、山形県酒田市立酒田商業学校を戦時繰り上げ卒業した。
若いころ高村光太郎の「道程」を読んで感銘を受ける。 | 1994年 | 『吉野弘全詩集』を刊行する。 |
| 1949年 | 過労で倒れ、肺結核のため3年間療養した。
入院中に詩人の富岡啓二と親しくなっている。
療養中に詩作を始める | 1996年 | 酒田市特別功労賞、1998年第41回埼玉文化賞(芸術部門)を受賞。 |
| 1952年 | 詩学社詩誌「詩学」に「爪」、「I was born」を投稿し新人に推薦される。 | 2007年 | 静岡県富士市に転居した。 |
| 1953年 | 川崎洋や茨木のり子の詩誌「權」に同人として参加。
ここでは谷川俊太郎、大岡信らと親睦を深めている。 | 2014年 | 米寿を目前に控えたこの年の1月15日21時48分、肺炎のため富士市の自宅で死去した。87歳没。 |
| 1957年 | 私家版詩集『消息』を刊行して注目をあつめる。 | | |
| 1959年 | 詩集『幻・方法』を上梓した。 | | |
| 1962年 | 退職してコピーライターとなった。 | | |
| 1972年 | 『感傷旅行』で第23回読売文学賞の詩歌俳句賞を受賞。 | | |

代表作には結婚披露宴のスピーチで引用され広く知られる「祝婚歌」をはじめ、国語の教科書にも掲載された「夕焼け」、「I was born」、「虹の足」などがある。

また母校をはじめとする校歌や社歌の作詞活動に取り組み、高田三郎の合唱組曲「心の四季」でも知られている。随筆や評論も手掛け、詩の魅力や詩作法・技術論から詩的感動の原点とは何かという問題にまで論を進めた評論『現代詩入門』が著名である。

吉野を敬愛するロック・ミュージシャンの浜田省吾が『CLUB SNOWBOUND』(1985年)というアルバムに、「雪の日に」の全文を掲載すべく、浜田自身が吉野弘に承諾を得る為に手紙を書いたところ、吉野直筆の「わざわざご丁寧ありがとうございます」という旨の御礼の返信をもらい感激したことを、浜田がコンサートで明かしている。

ちなみに、浜田の代表曲「悲しみは雪のように」は「雪の日に」にインスパイアされて出来た曲だとも言っている。

主催 / 富士市

企画運営 / 吉野弘のこころを詠む実行委員会

後援

富士市教育委員会・青葉台地区まちづくり協議会



協賛

船村興産倉庫(株)・(株)ダイワ・エム・ティ・富士山吉原ロータリークラブ・(株)田子の月



富士市長の挨拶



全国から多くの皆様に、「第6回 吉野弘のこころを詠む 朗読コンクール」に、ご応募いただきまして、誠にありがとうございます。決勝大会を吉野弘氏が晩年を過ごしたこの富士市で盛大に開催できる運びとなりましたことを、大変嬉しく思っております。

2年ぶりの開催となるこの大会は、吉野弘氏の没後10年、富士山世界文化遺産登録10周年の記念事業として開催いたします。

今回も全国から133名と、たくさんの方からご応募をいただきました。

これもひとえに、これまで開催してこられた実行委員会の皆様が吉野弘氏を敬い、富士市が縁の地であることを誇りに思う心の賜物であると、深く感謝申し上げます。

一次審査を通過され、本日の決勝大会に進出された皆様、ご出場、誠にありがとうございます。本市は、ブランドメッセージ「いただきへの、はじまり 富士市」を掲げ、まちへの愛着と誇りを高めるとともに自分の目標や夢に向かってチャレンジする人を応援しております。また、市内外にオンリーワンの魅力を発信し、本市と多様に関わる人との交流促進に努めております。

本日、ご出場される皆様の朗読により、あらためて吉野弘氏の詩の素晴らしさを感じていただくとともに、出場者の皆様が「いただき」を目指し、日頃の成果を遺憾なく発揮されることを祈念申し上げます。

結びに、この大会が表現力を育む場として、一層発展していくことを大いに期待して、挨拶とさせていただきます。

富士市長 小長井 義正



決勝大会 概要



日程 2024年1月20日(土)

審査員 審査員長 富士市長 小長井義正

開場 13:00 新朗読×杉山直 15:30

開演 13:30 表彰式 15:45

※ 進行は多少前後することがあります

副審査員長 富士市教育長 森田嘉幸 他

部門 ① ジュニアの部(小学生以下) ② 学生の部(中学生) ③ 一般の部

新朗読・杉山直プロフィール

杉山直 (すぎやま ちよく)

- 1957年 静岡県静岡市出身。
- 1962年 劇団文化座「土」全国公演デビュー。
- 1964年 TBS「小さな目」関口宏の弟役としてレギュラー出演。
- 1966年 NHK「太陽の丘」森繁久弥の末息子役としてレギュラー出演。
- 1968年 NTV「意地悪婆さん」青島幸男の初代孫役としてレギュラー出演。
- 22歳から地元静岡に移り、フリーアナウンサーとしてテレビ・ラジオ・イベント司会等で活躍。
- 1999年～ 富士市民大学「司会者養成講座」講師。
- 2009年～ 富士市民大学「読み聞かせ・話し方表現力アップ講座」講師。
- 2012年～ 富士市交流プラザ「絶対にあがらない話し方講座」講師。その他「話し方講座」「コミュニケーション講座」など多数。
- 2007年 「新朗読」を発表。文学作品を全文暗記し音楽・照明・映像を融合させ表現・伝える新感覚朗読「新朗読」を確立。広く全国に向けて公演活動・学校訪問公演等を行う。
- 2009年 国民文化祭出演。
- 2010年 文化庁地域芸術振興プラン県内公演。
- 2010年 ゲーテの詩朗読コンテスト準優勝。
- 2014年～ 熱田神宮「ヤマトタケルノミコト」神話朗読全国公演。



新朗読の作品

- ・『星の王子さま』(アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ)
- ・『走れメロス』『黄金風景』『海』(太宰治)
- ・『セロ弾きのゴーシュ』『注文の多い料理店』(宮沢賢治) など

朗読によせる想い

朗読とは、左脳と右脳が協力しあい、また せめぎ合うことによって生まれる芸術であると思っています。文章が文字という情報によって目から左脳に送られ、その情景や心理を右脳が巧みにイメージする。そしてそのイメージが左脳に送り返され、声という道具を使って文章が紡がれていく。その地道な作業を繰り返すことによって、作者が心血を注いで描いた世界が一人で楽しむ読書だけでは味わえない立体感を持って放たれる。朗読とはそんな素敵な世界だと思います。

なにかもが便利になり簡単になっていく世の中で「コソコソ」やることでしか辿り着けない世界がある。朗読とはそんなことに気づかせてくれるものかもしれません。

出場者エントリー順 (敬称略)



ジュニアの部

エントリー No / 名前 (ふりがな) / テーマの詩 / 学年 / 住所

①	杉山花音	すぎやま かのか	ぬけぬけと自分を励ますまじめ歌	小学4年生	静岡県富士市
②	佐藤綾香	さとう あやか	風が吹くと	小学2年生	東京都豊島区
③	白鳥心華	しらとり このは	火の子	小学5年生	静岡県富士宮市
④	栗田紬生	くりた つむぎ	雪の日に	小学4年生	静岡県富士市
⑤	矢崎心葉	やざき こは	空の色が	小学4年生	大阪府大阪市北区
⑥	村松愛優里	むらまつ あゆり	風が吹くと	小学4年生	静岡県富士市
⑦	石川莉々	いしかわ りり	ぬけぬけと自分を励ますまじめ歌	小学4年生	静岡県富士市
⑧	田辺勝崇	たなべ まさたか	富士	小学5年生	静岡県富士市

学生の部

エントリー No / 名前 (ふりがな) / テーマの詩 / 学年 / 住所

①	渡辺美月	わたなべ みつき	真昼の星	高校2年生	埼玉県久喜市
②	鈴木詩織	すずき しおり	虹の足	中学1年生	静岡県富士市
③	椎野 葵	しいの あおい	素直な疑問符	高校1年生	神奈川県横浜市南区
④	川端みさと	かわばた みさと	生命は	高校1年生	静岡県富士市
⑤	関根恵娜	せきね えな	一枚の写真	中学3年生	神奈川県横浜市西区
⑥	横山愛唯	よこやま あい	虹の足	高校3年生	神奈川県横浜市泉区
⑦	菲澤杏成	いらさわ あんな	小さな出来事	中学2年生	埼玉県和光市
⑧	小林勇翔	こばやし ゆうと	真昼の星	高校3年生	静岡県富士市
⑨	沖島美櫻	おきしま みお	杏の里から	中学1年生	静岡県富士市

一般の部

エントリー No / 名前 (ふりがな) / テーマの詩 / 住所

①	二宮 隆	にのみや りゅう	祝婚歌		神奈川県横浜市緑区
②	山中圭子	やまなか けいこ	秋の傷		大阪府大阪市北区
③	鈴木順子	すずき じゅんこ	或る声・或る音		福島県会津若松市
④	松田萌子	まつだ もえこ	飛ぶ		千葉県船橋市
⑤	佐山明子	さやま あきこ	ほぐす		静岡県沼津市
⑥	高岩靖典	たかいわ やすのり	陽を浴びて		東京都豊島区
⑦	須山里華	すやま りか	秋の運動会で		島根県出雲市
⑧	齋藤弘江	さいとう ひろえ	虹の足		徳島県徳島市
⑨	長田雅子	おさだ まさこ	13日の金曜日		静岡県裾野市
⑩	中山伊都子	なかやま いつこ	或る位置		鹿児島県鹿児島市
⑪	石橋 玲	いしばし れい	冷蔵庫に		北海道札幌市豊平区
⑫	寺島 立	てらしま りゅう	ほぐす		埼玉県越谷市
⑬	鈴木真也子	すずき まやこ	奈々子に		神奈川県横浜市鶴見区
⑭	難波りょう	なんば りょう	雪の日に		静岡県富士市
⑮	窪田誠司	くぼた せいじ	日々を慰安が		奈良県生駒市